

経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県 戸田市

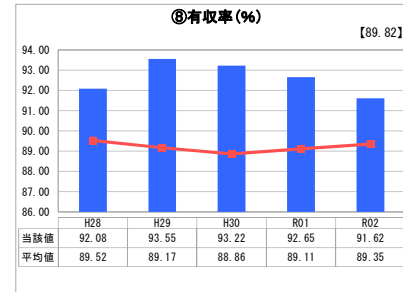
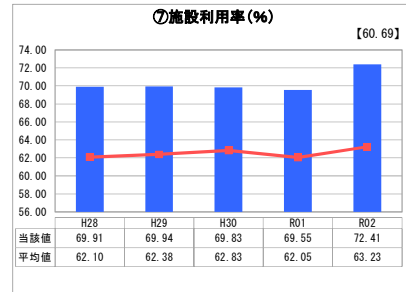
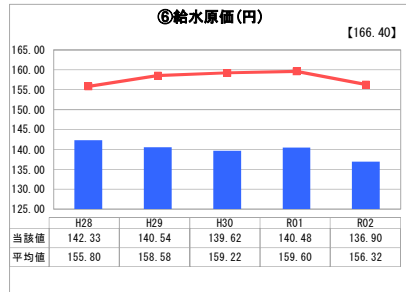
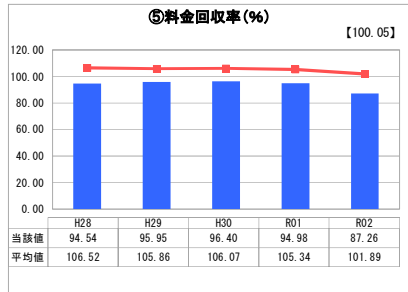
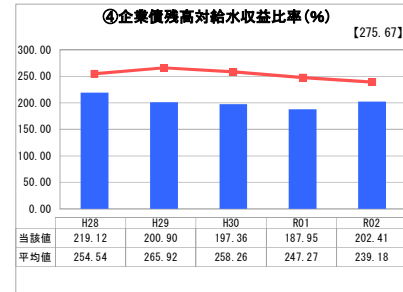
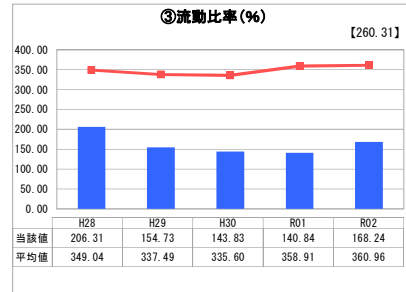
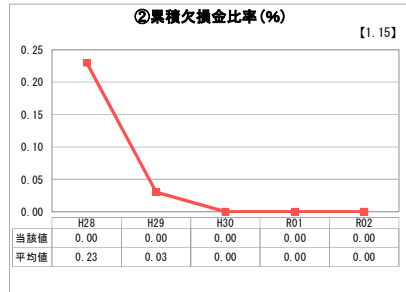
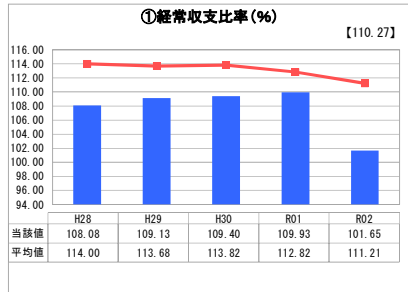
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	78.28	100.00	1,749	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
141,033	18.19	7,753.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
140,952	18.19	7,748.87

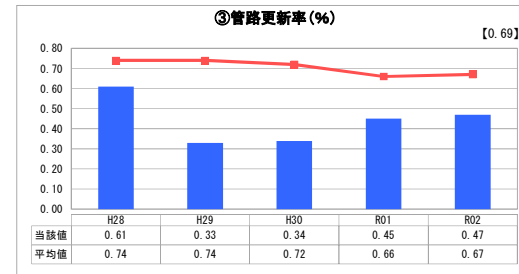
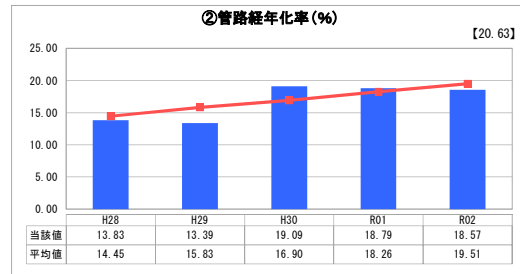
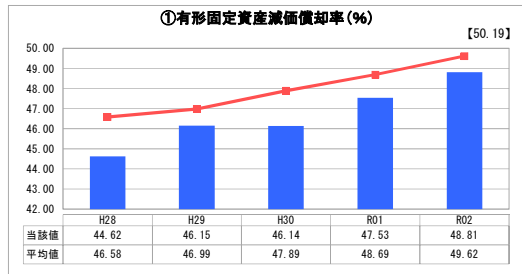
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
 収益的収支の均衡を示す指標です。事業の効率的な運営に努めてきた結果、100%を超えて推移しており収支は黒字を維持しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による各業種及び事業者への経済的影響もたらしている状況を踏まえ、市民の生活や経済活動を支援するため、令和2年6月決算分（4・5月使用分）から9月決算分（7・8月使用分）までの4か月間水道料金の基本料金を減免しました。そのため、例年と比較し値が減少しています。また、当年度回収率は100%を下回っており、給水収益以外の分相給収入等に依存している状況です。

② 累積欠損金比率
 累積欠損金とは、収支の赤字が複数年度にわたり累積したものです。本市の収支は黒字を維持しているため、累積欠損金はありません。

③ 流動比率
 1年以内を支払う債務に対する支払能力を示す指標です。本市では、継続して100%以上を維持しており、支払能力に問題はありません。なお、類似団体平均と比較して値が低いのは手持資金を長期で資金運用しているためです。

④ 企業債残高対給水収益比率
 水道施設を建設する際の借入金残高と水道料金収入との均衡を示す指標です。平成28年度までの10年間にわたる企業債の借入抑制の結果、類似団体より低い値となっています。

⑤ 料金回収率
 料金と費用の均衡を示す指標です。比率が100%を下回っているのは、給水にかかる費用が料金収入で賄えないことを示しています。類似団体平均と比較しても高く、課題となっています。

⑥ 給水原価
 1m³の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標で水道の製造原価です。本市は市域が狭く平坦な地域で、建物も密集しているため、設備をコンパクトかつ効率的に利用できることから、他団体と比較して給水原価が低い傾向です。

⑦ 施設利用率
 水道施設の利用状況を示す指標です。指標が低すぎる場合は過剰施設、過剰施設の可能性があります。類似団体平均値よりも高い値であり、施設規模は適切であると考えられます。

⑧ 有収率
 給水に対する収益に繋がった水量の割合を示す指標で、比率が高いほど、効率的に水を届けていることとなります。類似団体平均値よりも高い値を維持しています。しかし、近年減少傾向にあることから、老朽管の更新が課題となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
 有形固定資産の減価償却の進捗度や資産の老朽化を示す指標です。類似団体よりも低い比率となっているものの、上昇傾向にあり、水道管線や浄水場施設等の老朽化が進行しています。

② 管路経年化率
 管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路（水道管）の割合を示す指標です。前年度と比較して、法定耐用年数を超えた管路が減少及び更新した管路の延長距離が増加したことで、結果として前年度の水準を下回りました。

③ 管路更新率
 管路更新率は、全ての管路延長に対し、当該年度に更新した管路延長の割合を示す指標です。平成28年度からの4年間は、僅かですが増加しています。この更新ペースを増加させるには、更新事業量増はもとより、それを変える財源の確保及び水道事業の経営に与える影響を踏まえた分析を行う必要性があります。今後についても管路布設時の経過年数等を考慮し、計画的に管路更新を進めていきます。

全体総括

現時点で経営の効率性、財務の健全性は概ね確保されているといえます。しかし、今後は工場等の大口需要者の使用水量の減少や節水機器の普及等により、水道料金収入の伸びは見込めない状況の中、施設の更新・耐震化に伴う多額の費用を確保しなければなりません。今後も水道ビジョンや経営計画に基づいて、施設更新や事業経営を計画的かつ効率的に実施していきます。

経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県 戸田市

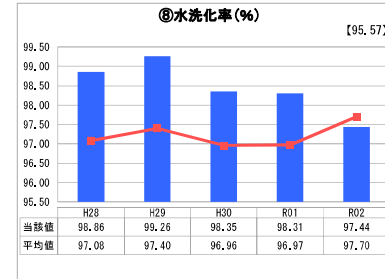
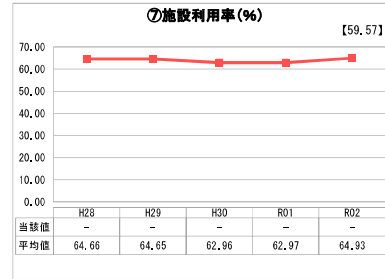
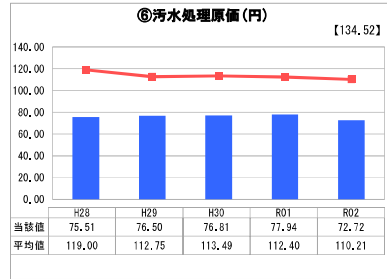
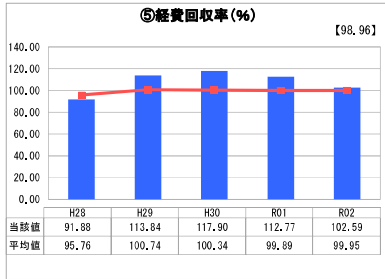
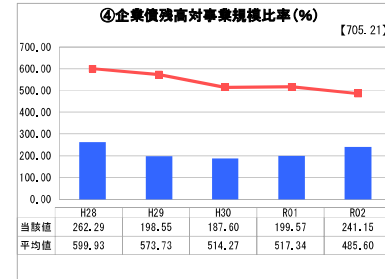
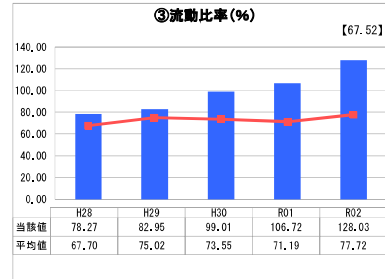
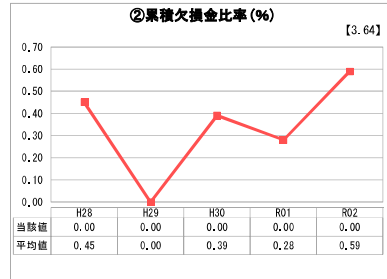
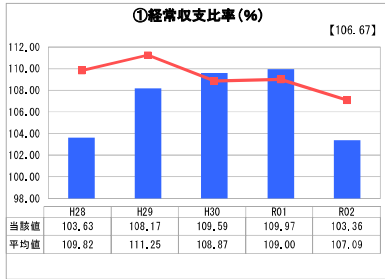
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	56.12	93.65	83.19	1,023

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
141,033	18.19	7,753.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
131,999	12.40	10,645.08

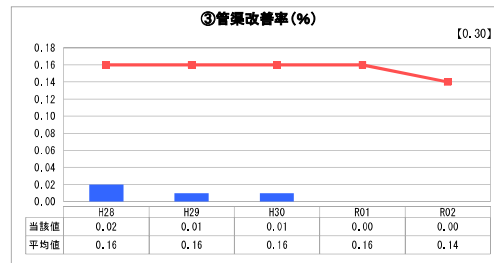
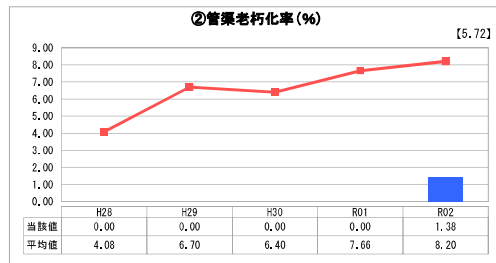
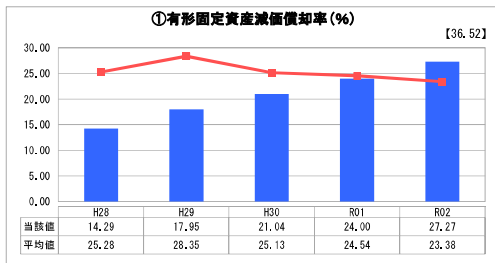
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
収益均収支の均衡を表す指標です。令和2年度ではコロナ対応による下水道使用料の減免を実施したことより低下しましたが、収支は黒字を確保しています。類似団体より低い水準となりましたが、⑤経費回収率は100%を上回り使用料収入で汚水処理費を賄っている状況です。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金は、収支の赤字が複数年度にわたり累積したものです。本市の収支は黒字を維持しているため、累積欠損金はありません。
- ③ 流動比率
短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。本市では継続して100%以上を維持しており支払能力に問題はありません。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
下水道施設を建設する際の借入金残高の規模と下水道使用料収入との均衡を表す指標です。類似団体より低い水準にあります。今後も合理的な投資による適正な債務残高の維持や、使用料収入の確保に努める必要があります。
- ⑤ 経費回収率
使用料収入と汚水処理費用の均衡を表す指標です。平成29年度以降は使用料改定を実施したことにより経費回収率が100%を超え、使用料収入で汚水処理費を賄うことができています。
- ⑥ 汚水処理原価
有収水量1㎡あたりの汚水処理に係るコストを表した指標です。本市は面積が狭く平坦な地形で、建物が密集しているため、設備をコンパクトかつ効率的に利用できることから、効率的に汚水処理を行うことができます。その結果、類似団体と比較して汚水処理原価が低い傾向です。
- ⑦ 施設利用率
下水道施設の利用状況等を判断する指標です。本市は下水道環境を確保していないため、本指標は該当しません。
- ⑧ 水洗化率
処理区域内人口の内、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。前年度より率が減少していることから、継続啓発に注力し、今後も普及を促進していきます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
有形固定資産における減価償却の進捗度や資産の老朽化を表す指標です。類似団体よりやや高く、上昇傾向にあります。施設全体の老朽化が進みつつあることから、計画的、効果的な償却対象資産の更新等を行う必要があります。
- ② 管渠老朽化率
法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標です。今後、老朽化率が高くなっていくことが見込まれ、計画的に更新を進めていく必要があります。
- ③ 管渠改善率
当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標です。今後、老朽化が進行していくことも明らかのため、老朽管の状態を把握し、必要に応じて更新・改善ができるよう調査・解析を進めます。

全体総括

平成29年度に使用料改定を実施したことにより、経費回収率は100%を超え、経営状況は概ね良好であると言えます。
課題としては、今後、普及及びコンパクト施設等の老朽化に伴う更新費用の増加と下水道未整備地区の整備が重なり、建設改良費は増大していくことが見込まれることから、下水道ビジョンや経営計画等に基いて、計画的な改善更新を実施していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。